

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年9月27日(2022.9.27)

【公開番号】特開2022-109824(P2022-109824A)
 【公開日】令和4年7月28日(2022.7.28)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-137
 【出願番号】特願2021-5383(P2021-5383)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年9月14日(2022.9.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベース部材と、

待機位置と動作位置に移動する移動部材と、

前記ベース部材に前記移動部材を移動可能に支持する案内部材と、

前記移動部材の前方側に設けられ、前記待機位置にて前記移動部材の前面に位置する装飾部材と、

前記案内部材に設けられる連結部と、を備え、

前記案内部材は、前記待機位置から前記動作位置の所定方向に向かって延び、互いに重ねられてスライド可能に係合し、前記所定方向と直交する方向の幅が互いに異なる複数のスライド部材を有するスライド部を備え、

30

前記連結部は、一方の前記スライド部の最前面側に配置された前記スライド部材に接続され、他方の前記スライド部の最後面側に配置された前記スライド部材に接続され、

前記動作位置において、前記案内部材は、前記移動部材と前記装飾部材によって、前方より視認困難となっていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0004】

しかしながら、従来、遊技機は、装飾部材について設計の自由度を向上しつつ厚みを抑え、見栄えを向上させることが求められている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、装飾部材について設計の自由度を

50

向上しつつ厚みを抑え、見栄えを向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するために、本発明は、以下のような遊技機を提供する。

本発明は、

ベース部材と、

待機位置と動作位置に移動する移動部材と、

前記ベース部材に前記移動部材を移動可能に支持する案内部材と、

前記移動部材の前方側に設けられ、前記待機位置にて前記移動部材の前面に位置する装飾部材と、

前記案内部材に設けられる連結部と、を備え、

前記案内部材は、前記待機位置から前記動作位置の所定方向に向かって延び、互いに重ねられてスライド可能に係合し、前記所定方向と直交する方向の幅が互いに異なる複数のスライド部材を有するスライド部を備え、

前記連結部は、一方の前記スライド部の最前面側に配置された前記スライド部材に接続され、他方の前記スライド部の最後面側に配置された前記スライド部材に接続され、前記動作位置において、前記案内部材は、前記移動部材と前記装飾部材によって、前方より視認困難となっていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、装飾部材について設計の自由度を向上しつつ厚みを抑え、見栄えを向上させることができる遊技機を提供できる。

10

20

30

40

50